

# 「清流の国ぎふ森林・環境税」に関するアンケート調査結果

森林活用推進課

## 1 調査目的

「清流の国ぎふ森林・環境税」(以下「県森林・環境税」という。)に対する県民の皆さんの意識を把握し、今後の森林・環境施策の基礎資料とさせていただくために、ご意見などを伺いました。

## 2 調査対象等

調査対象: 県政モニター 818人(郵送モニター282人、インターネットモニター536人)

調査方法: 郵送及びインターネット

調査期間: 令和5年6月15日～7月7日

回収結果: 742人(回収率: 90.7%)

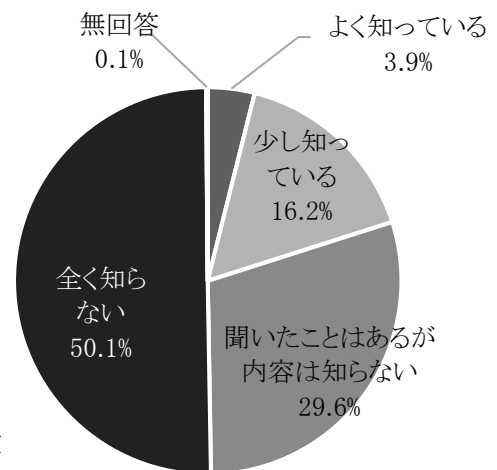
構成比はパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。

そのため、合計が100%にならない場合があります。

## 3 結果概要

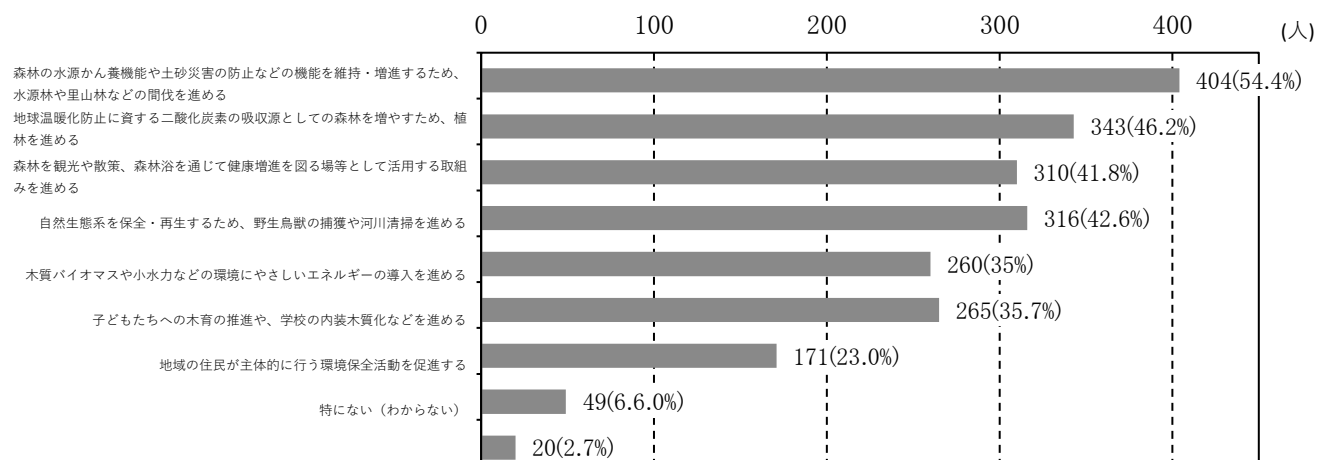
### ○ 県森林・環境税の認知度について

「県森林・環境税」の認知度は、49.7%（「よく知っている」「少し知っている」「聞いたことはあるが内容は知らない」の合計）となっている。一方、「全く知らない」は50.1%となっている。



### ○ 県森林・環境税の使いみちについて

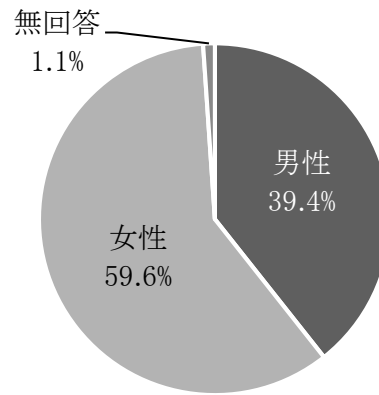
「県森林・環境税を活用した取組み」について、引き続き最も県で取り組んでほしいものは「森林の水源かん養機能や土砂災害の防止などの機能を維持・増進するため、水源林や里山林などの間伐を進める」が54.4%、次いで「地球温暖化防止に資する二酸化炭素の吸収源としての森林を増やすため、植林を進める」が46.2%となっている。



## 4 回答者属性

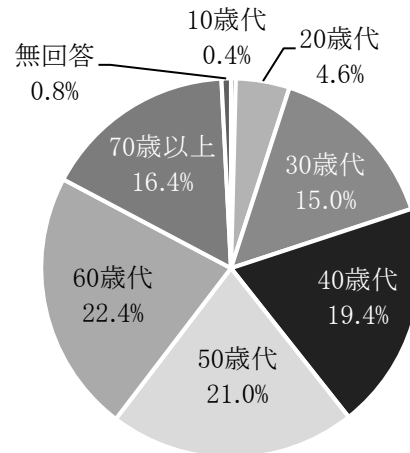
### (1) 性別

	人数	割合
男性	292	39.4%
女性	442	59.6%
無回答	8	1.1%
計	742	100.0%



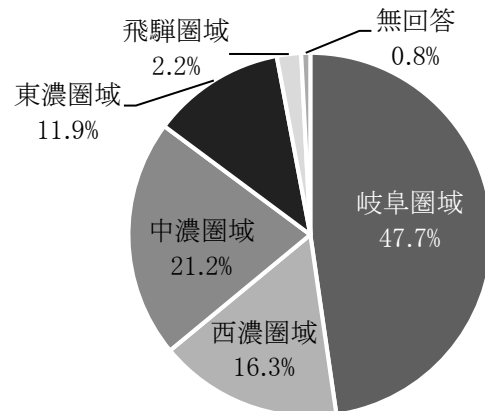
### (2) 年代別

	人数	割合
10歳代	3	0.4%
20歳代	34	4.6%
30歳代	111	15.0%
40歳代	144	19.4%
50歳代	156	21.0%
60歳代	166	22.4%
70歳以上	122	16.4%
無回答	6	0.8%
計	742	100.0%



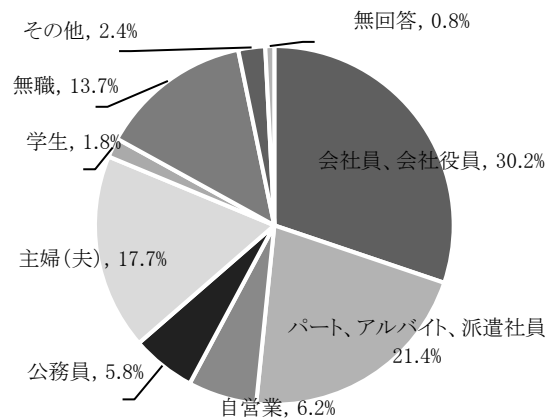
### (3) 居住圏域別

	人数	割合
岐阜圏域	354	47.7%
西濃圏域	121	16.3%
中濃圏域	157	21.2%
東濃圏域	88	11.9%
飛騨圏域	16	2.2%
無回答	6	0.8%
計	742	100.0%



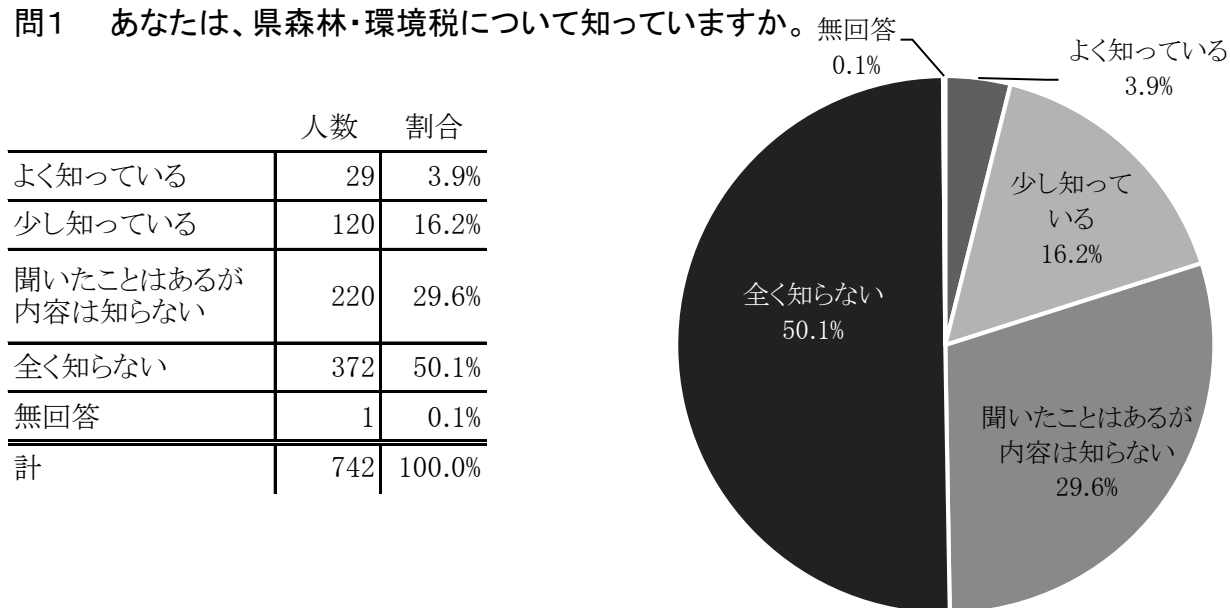
### (4) 職業別

	人数	割合
会社員、会社役員	224	30.2%
パート、アルバイト、派遣社員	159	21.4%
自営業	46	6.2%
公務員	43	5.8%
主婦(夫)	131	17.7%
学生	13	1.8%
無職	102	13.7%
その他	18	2.4%
無回答	6	0.8%
計	742	100.0%



## 5 調査結果

問1 あなたは、県森林・環境税について知っていますか。

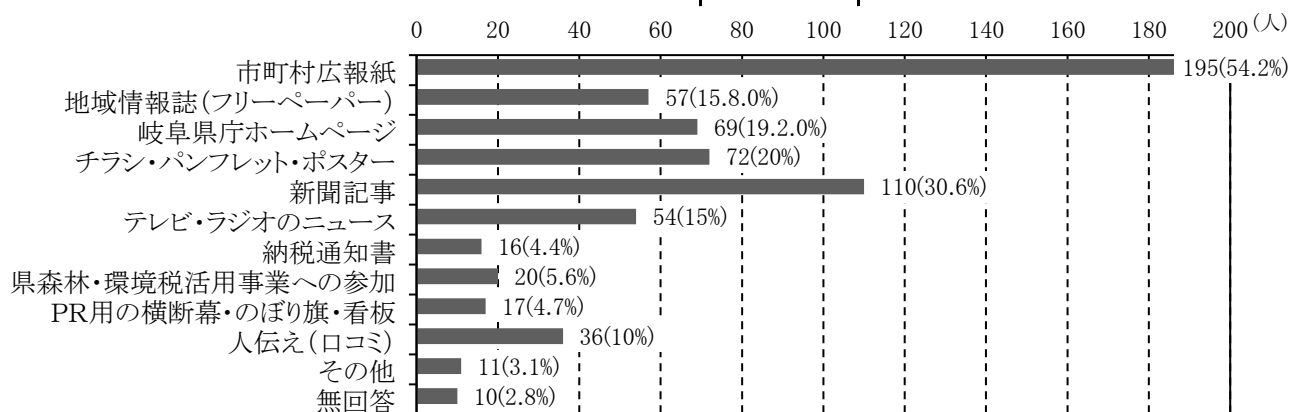


(問1で「よく知っている」「少し知っている」「聞いたことはあるが内容は知らない」と答えた方)

問2 あなたが、これまでに県森林・環境税について見たり聞いたりしたことのある媒体について、次の中からあてはまるものをすべてあげてください。

(複数回答) 回答者 360 人

	回答数	割合
市町村広報紙	195	54.2%
地域情報誌(フリーペーパー)	57	15.8%
岐阜県庁ホームページ	69	19.2%
チラシ・パンフレット・ポスター	72	20.0%
新聞記事	110	30.6%
テレビ・ラジオのニュース	54	15.0%
納税通知書	16	4.4%
県森林・環境税活用事業への参加	20	5.6%
PR用の横断幕・のぼり旗・看板	17	4.7%
人伝え(口コミ)	36	10.0%
その他	11	3.1%
無回答	10	2.8%
計	667	-

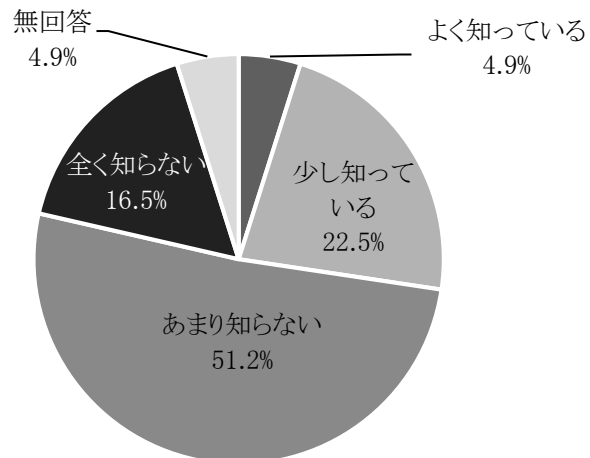


【その他】 SNS、事業実施後の看板 等

(問1で「よく知っている」「少し知っている」「聞いたことはあるが内容は知らない」と答えた方)

問3 あなたは県森林・環境税の使いみちをご存じですか。

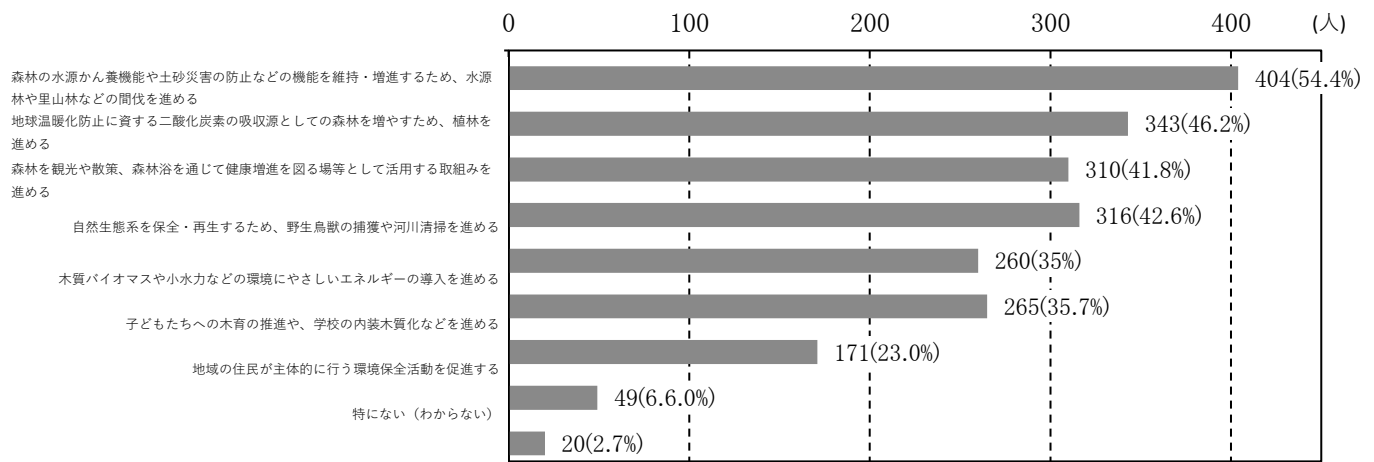
	人数	割合
よく知っている	18	4.9%
少し知っている	83	22.5%
あまり知らない	189	51.2%
全く知らない	61	16.5%
無回答	18	4.9%
計	369	100.0%



問4 県森林・環境税は、現在、森林づくりや、川づくり、水環境の保全などに関する取組みに活用されています。県森林・環境税を活用して、あなたが県で取り組んでほしいと思うものについて、次の中からあてはまるものをすべてあげてください。

(複数回答) 回答者 742 人

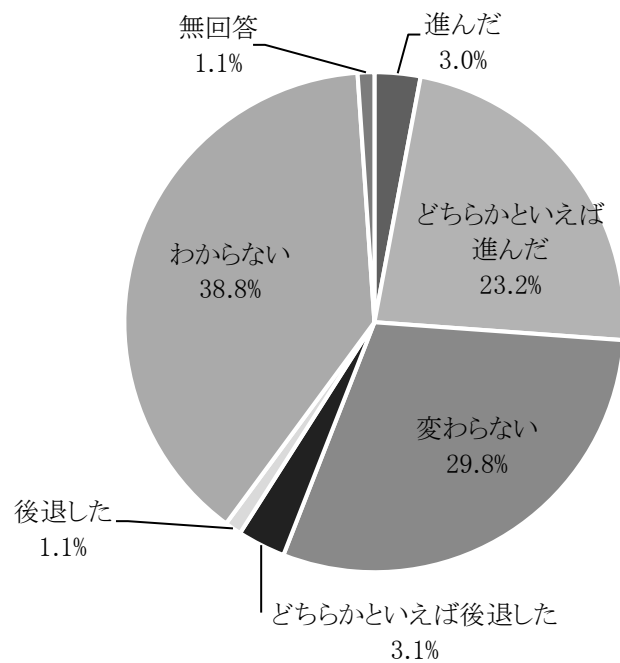
	回答数	割合
森林の水源かん養機能や土砂災害の防止などの機能を維持・増進するため、水源林や里山林などの間伐を進める	404	54.4%
地球温暖化防止に資する二酸化炭素の吸収源としての森林を増やすため、植林を進める	343	46.2%
森林を観光や散策、森林浴を通じて健康増進を図る場等として活用する取組みを進める	310	41.8%
自然生態系を保全・再生するため、野生鳥獣の捕獲や河川清掃を進める	316	42.6%
木質バイオマスや小水力などの環境にやさしいエネルギーの導入を進める	260	35.0%
子どもたちへの木育の推進や、学校の内装木質化などを進める	265	35.7%
地域の住民が主体的に行う環境保全活動を促進する	171	23.0%
特にない(わからない)	49	6.6%
その他	20	2.7%
計	2,138	—



【その他】 絶滅危惧種の動植物の保護、地域住民の活動をサポートする人と組織の育成 等

問5 近年、森林や川、水環境、生物多様性、自然環境に関する県の施策は進んだと感じますか。

	人数	割合
進んだ	22	3.0%
どちらかといえば進んだ	172	23.2%
変わらない	221	29.8%
どちらかといえば後退した	23	3.1%
後退した	8	1.1%
わからない	288	38.8%
無回答	8	1.1%
計	742	100.0%



問6 その他、森林や自然環境に関する県の施策に対して、ご意見などがございましたら、お聞かせください。

### 【主な意見】

#### (広報について)

- 近年、異常気象による地球温暖化が進んでいると肌で感じる。森林・環境税が何に使用されているか県民に詳しく周知することで一人ずつの意識は変わると思う。また、可能であれば、ごみ問題にも取り組んでほしい。
- 岐阜県は広いのでピンとくる方も居るのだらうと思いますが、税について正直全く知りませんでした。砂防ダム、里山保全等とても大切な課題だと思うので、小中学校等の学習で学ぶ内容を大人も学べるチャンスがあるとありがたいです。
- 岐阜県は自然が豊かだと言われる割には、自然と共存する取り組みや自然を活用した取り組みがあるのか実感が湧かない。

#### (問題提起)

- 自然の山中に高速道路を作って山に住んでいる動物はどこに行くのか、移動して住む場所があるのか、街中に出てこなくても良いように対策してほしい。
- 岐阜県は海に面していないこともあり、森林や川に親しみがありません。子供の頃の楽しい思い出も川や緑とともにあり、今でも忘れることのない経験もたくさん与えられてきました。自然と守られるものではなく意識して守るものとなってしまった現代ですが、今の子供たちにもそのありがたみや環境への意識を自然体験を通じ、楽しみのある中で学べる機会が増えるといいと思います。
- 植林や間伐材の利用促進も大切だが、同様に子どもたちへの教育も重要である。
- 岐阜県の強みは森林面積の大きさや自然環境の豊かさだと感じています。「守る」だけでなく「活用する」ことで、岐阜県の魅力を増し、県民の意識や評価を高め、かつ外部からの移住者や来訪者を増加させることもできるのではないかと考えます。

#### (使途について)

- morinos(モリノス)の様な自然体験できる場、木に触れ合える場を多く作ってほしい。
- 豊かな自然を活かした観光に関する施策を積極的に展開してほしい。
- 杉花粉で悩んでいる県民は多いと思われる。杉の間伐や花粉の無い杉の植林を進めてほしい。自然環境の保護の必要性を県民が理解できるようなイベントを学校、地域、市町村の施設で実施してほしい。
- 子供の未来のために、森林や自然環境を守る取り組みの実例やそのことによる経済効果、将来森林や自然環境を守る仕事に就きたいと思えるような啓発活動を推進してほしい。

#### (その他)

- 岐阜は木の国。緑が多く、心や目があられます。良い所に住んでいる幸せを感じています。
- 岐阜県民の歌の中に「岐阜は木の国」というフレーズがあり、森林が近くにある地域には住んでいないが、美しい山や川は、一人ひとりの税金で守っていかなくてはいけないし、子供の頃から郷土を愛する教育は必要だと思う。